

平成 18 年 1 月 20 日

各 位

会社名 アルテック株式会社
代表者名 代表取締役社長 田中 利浩
(コード番号 9972 東証第一部)
問合せ先 取締役 経理・財務担当 尾山 義秋
(TEL 03 - 5363 - 0926)

業績予想の修正に関するお知らせ

業績の動向等を踏まえ、平成 17 年 1 月 28 日の決算発表時及び平成 17 年 7 月 25 日の中間決算発表時に公表した平成 17 年 11 月期（平成 16 年 12 月 1 日～平成 17 年 11 月 30 日）の業績予想を下記の通り修正致しましたので、お知らせ致します。

記

1. 当期の業績予想数値の修正（平成 16 年 12 月 1 日～平成 17 年 11 月 30 日）

		単位	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	連結	百万円	33,000	300	120
	単体	百万円	1,270	100	200
今回修正予想 (B)	連結	百万円	32,671	△758	△767
	単体	百万円	1,280	34	199
増減額 (B-A)	連結	百万円	△328	△1,058	△887
	単体	百万円	10	△65	△0
増減率	連結	%	△1.0	△353.0	△739.3
	単体	%	0.8	△65.4	△0.1
ご参考：前期実績	連結	百万円	30,237	280	△251
	単体	百万円	760	△343	△478

2. 修正の理由

単体

経常利益については、人員補強に伴う人材派遣費を含めた人件費が総額 26 百万円増加したこと、当社株式の大規模買付行為に関する対応等に関連した「株主利益評価委員会」の設置費用が 6 百万円発生したこと等、営業費用が予想を 39 百万円上回りました。中国現地法人の生産設備投資に係る資金調達コストが予想を 28 百万円上回りました。これらの結果、予想を 65 百万円下回り 34 百万円になる見込みであります。

連結

売上高については、主として、包装関連機械及びリサイクル関連機械の納期遅れや検収遅れにより売上げに結びつかなかったことにより、予想を 328 百万円下回る見込みであります。

経常利益については、単体決算の未達要因及び上記売上高の未達要因に加え、ペットボトル用レジン等の低利益率の案件の増加による売上総利益率の悪化、蘇州及び広州の中国現地法人 2 社のペットボトル用プリフォームの生産稼働が固定費を回収するまでに至らなかったこと等により、予想を 1,058 百万円下回り 758 百万円の損失となる見込みであります。

当期純利益については、単体決算の未達要因及び上記の経常利益の未達要因等により予想を 887 百万円下回り、767 百万円の損失となる見込みであります。

以上